

沖縄本土復帰50年！

★映画のご紹介★

「島守の塔」

JR総連は、これまで沖縄平和研修を開催し、組合員と共に沖縄戦について学んできました。現在、沖縄戦の史実を伝える映画「島守の塔」が公開されていますので、ご紹介いたします。

沖縄への戦禍が激しさを増す1945年1月、沖縄県知事として島田叡(あきら)氏が赴任します。島田氏は、沖縄県警察部長の荒井退造氏と共に、住民保護のため必死に食料確保や疎開に尽力します。

しかし、4月1日に米軍が沖縄本島に上陸し、激しい地上戦が繰り広げられ、多くの住民も戦闘に巻き込まれました。そのような中、住民に対して島田氏は「命どう宝！生きぬけ！」と最期まで叫び続けたました。

この映画「島守の塔」は、軍と対立しながら、県民の命を守り抜こうとした島田県知事と荒井警察部長、そして沖縄戦で戦禍に巻き込まれながらも必死に生きる沖縄県民、それぞれの生きる姿を描く映画です。

(※上映の劇場と日時については、「島守の塔」公式HPよりご確認ください)

戦後77年！沖縄の本土復帰50年！国会では、改憲勢力が衆参両院で「改憲発議可能な3分の2以上」を占め、憲法改悪の危機が目の前に迫っている今！

映画『島守の塔』を観て、組合員・家族と共に「戦争とは何なのか」「平和とは何なのか」を考えてみましょう！

